

2012年(平成24年)8月24日(金曜日)

名古屋市



高度な がん治療が 可能に

名古屋市は先ごろ、名古屋市中立大学病院にがん治療専門の診療棟「喜谷記念がん治療センター」を開設。がん治療に有効な最新医療機器を配備した。中でも抗がん剤自動調製装置と、高精度放射線治療装置(トモセラピー)の新モデル「Tomo HD」は、日本でも数台しか稼働していない機器で、より高度な治療が行えるよう「Tomo HD」を視察する党名古屋市長議員(左側4人)



配備された抗がん剤自動調製装置

になった。

抗がん剤自動調製装置は、これまで薬剤師が手作業で行っていた抗がん剤の調製を自動で行うもの。より正確な抗がん剤の調製が可能になり、作業ミスなど薬剤師が抱えていたリスクを軽減でき

放射線がん病巣に全方位から当てることで、周囲の正常な細胞への影響をより少なくして治療できる装置。しかも、コンピュータ断層撮影(CT)機能を備えていることから、治療直前に病巣を確認し正確な位置合わせができる。さらに、同

市大病院に専門病棟

◆公明市議団が推進◆

緩和ケア外来も開設

る。また、同病院の担当薬剤師によると、この装置を導入したことにより「薬剤師の作業効率が向上した」という。一方、トモセラピーは、

病院に導入された「Tomo HD」は完全自動化を実現。これにより、従来のものより誤差を抑えた照射ができ、患者の負担軽減につながる。

が可能になったことを取り上げるとともに、「こうした機械を多くの市民のために使うべきだ」と主張するなど、積極的に推進してきた。

最新の放射線機器や薬剤装置導入

このほか、抗がん剤治療専用の化学療法室(30床)や最新の磁気共鳴画像装置(MRI)を設置するとともに、医師や看護師、薬剤師、臨床心理士などが連携して、がん患者の身体的、精神的苦痛を和らげたり、家族のケアを行う緩和ケア外来を設けるなど、幅広い対応が可能となった。

がん対策について公明党名古屋市長議員は、馬場規子市議が2005年6月議会

で、トモセラピーなどの高精度放射線治療の保険適用